

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 高山市立山王小学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
所在地 〒506-0824
岐阜県高山市片野町6丁目400番地
E-mail sannou@edu.city.takayama.gifu.jp
Website _____
幼児児童生徒数 男子 277名 女子 257名 合計 536名
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「郷土に根をはれ どんぐりっ子～大好きな高山でたくましく生きる山王の子の育成～」を活動テーマとした。

具体的には、郷土の自然・伝統・文化を柱に、①環境に係わる教育、②文化遺産に係わる教育、③福祉に係わる教育を行った。

①環境に係わる教育

5年 どんぐりっこの森・校外外自然環境

身近な自然環境に目を向け、興味関心を高めながら、自分たちと自然環境とのつながりについて考え、その問題点の解決に向け自分たちでできることを考えた。

高山市役所環境政策推進課の方から、高山市の自然や環境について、また環境問題についてのお話を聞いたり、五色ヶ原見学に向けての事前学習や見学後に学んだことをまとめたりした。

②文化遺産に係わる教育

3年 地域を大切にしている人々の生き方から学ぶ

地域の方に講師として学校に来ていただき、直接児童と関わる場を多く設定することによって、山王校区では多くの人々が地域の大切な歴史や文化を守ろうとしていることを学んだ。特に、獅子舞保存会の方にが何度も来ていただき高山祭や獅子舞について教えていただいた。

6年 文化遺産の見学・歴史や文化遺産の価値を学ぶ

身近な伝統的な文化遺産にふれ、理解を深め、その価値に気付くとともに、その保存・維持のための問題点について考え、自分たちにできることを考えた。

奈良時代と繋がり深い国分寺で住職の方に歴史を教えていただいたり、まちの博物館で学芸員の方から飛騨の匠がどのようなものを作ったのか、昔の人々の暮らしはどのようなものだったのか話を聞いたりした。

③福祉に係わる教育

4年 福祉体験・みんなが幸せになるために・テーマ追求と行動化

少子高齢化問題の中で、「みんなが幸せになるにはどうすればよいか」を考えることを通して、本当の福祉のあり方を子ども達なりに考え、自分たちにできることは何かを考えて行動できるように活動した。

視覚障がいや高齢の方から実際に話を聞いたり、体験したりした。



① の写真(5年 五色ヶ原にて草花について学ぶ)



② の写真(3年 獅子舞保存会の方との交流)



②の写真(6年 まちの博物館で学芸員の方に説明していただいた)



③ の写真(4年 運動場で車いす体験)

(2) 活動の詳細※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

<ul style="list-style-type: none">・わたしたちの高山・まちの博物館パンフレット

- ① ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

・全ての教育活動に、可能な限り郷土の素材を取り入れたり、郷土の資源を活用したりする工夫をする。

・郷土の人々の生き方や、景観、歴史、文化について、地域の人から学んだり、学んだことを積極的に発信したりする郷土学習を計画的に行う。

・ユネスコスクールとして、持続可能な開発のための教育(ESD)の視点に立ち、現代社会の課題を自らの課題としてとらえ、身近なところから取り組むことにより、課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出す。

- ② 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

総合的な学習の時間で学んだことを学年間で交流し、他学年がどのような活動を行ってきたのか知る時間を設けた。また、次年度、総合的な学習の時間がスムーズにスタートできるように写真や活動の記録をデータとして残し、職員が活動内容や関係機関への連絡先など共有できるようにした。

- ③ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

今年度、ユネスコスクールとしての活動の質の向上のために校内において総合的な学習の時間の指導計画の見直しをした。今までは、各学年の活動やねらいが次の学年へつながるものではなかった。このことから、来年度はより系統性、一貫性のあるものに見直した。

④ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

今年度は、学習したことを他学年や保護者に発信するということが多かった。3年生の獅子舞については、近隣の保育園や幼稚園で披露し、地域に発信した。来年度は、地域への発信ということに力を入れたいと考えている。そのため、総合的な学習の時間の各学年の内容も見直しをし、より系統的なものに変更する予定である。

⑤ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

3年生 古い町並みの店の方 まちの博物館 獅子舞保存会
4年生 社会福祉協議会 コスモス事業所
5年生 乗鞍青少年交流の家 岐阜県環境生活政策課
6年生 まちの博物館 高山の歴史的施設

⑥ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

将来的な交流のためのネットワーク構築に向けて、6年生では修学旅行で京都や奈良に行くので、他県の小学生と本校の取り組みについて交流できればよいと考えている。そのために、来年度は今年度の内容からさらに発信ということに力を入れて取り組みたいと考えている。

- ⑦ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

例えば、3年生の活動では、これまで「高山祭」は知ってはいるが、詳しくは分からないという児童が多かった。総合的な学習の時間を通して、「高山祭は昔から地域の人々に大切にされてきたんだな。これからもずっと続いてほしい。」と感想を書く児童が多くなり、自分たちが獅子舞を舞い、地域の人々に喜んでもらうことで、自分たちも地域の一員だということがわかり、うれしい気持ちになった。また、自分たちで作った段ボールの獅子頭を持ち帰った後、家の玄関に飾られている家庭が多く、子ども達の意識は今も継続している。これが郷土に触れ、郷土に学び、郷土に貢献しようとする児童の育成につながっていると感じられた。

(3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

3年：地域を大切にしている人々の生き方から学ぼう

分野：伝統文化

「地元山王校区の地域自慢」ができるようになろう 『古くから受け継がれているものを学ぼう』

地域の伝統や文化の特徴（高山祭や獅子舞など）

4年：自然体験や環境破壊の現状、保護への取り組みから学ぼう

分野：環境

「誇れる飛騨（高山）の自然環境」を調べよう 『ふるさとの川 宮川を未来に』

身近な川とのつながり、自分たちの生活とのかかわりや地域の環境のよさ

5年：福祉体験を通して福祉を学ぼう

分野：福祉

「人に優しい高山市」について調べよう 『福祉を学ぼう』

地域における福祉の現状と問題や地域に住む高齢者との暮らしやかかわりだれもが幸せに生活できることの大切さや住みよい暮らしづくり

6年：町づくりや地域活性化について調べ、高山のよさを広めよう

分野：町づくり

「飛騨高山のまちづくり」を調べよう 『高山大好き』

町づくりや地域活性化に取り組んでいる人々や組織とその思いを学び、いろいろな人へ発信